

令和 元年度 防衛議員 視察報告書



令和元年 9月26日
太陽の会

視 察 報 告 書

以下の通り視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

太陽の会×2名

・迫間輝昭・上坂月夫

2 視察先・テーマ及び日時

(1) 視察テーマ：第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会研修視察

(2) 視 察 先：「総会・防衛講話」：沖縄県那覇市「ロワジールホテル那覇」
「部隊視察」：航空自衛隊「那覇基地」

(3) 日 時：令和元年8月26日（月） 14：00～19：30

3 視察の内容

(1) 九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会 14：00～14：50

(2) 防衛講話「南西諸島を取り巻く安全保障環境」 15：00～16：00
・講 師：空将 鈴木康彦「航空自衛隊 南西航空方面隊司令官」

(3) 研修視察：「航空自衛隊 那覇基地」 16：20～17：20

(4) 交 流 会（九州・沖縄、各県防衛議員等×270名） 18：00～19：30

4 視察の感想

第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会に都城市防衛議員連盟2名が参加した。宮崎県議会からは、横田防衛議員連盟会長以下16名の議員が参加された。

連絡協議会総会においては、平成30年度の事業報告及び決算、令和元年度の事業計画と大会決議が承認可決されるとともに、次期開催県の大分県に申し送りがあった。

防衛講話は、航空自衛隊の南西航空方面隊司令官の空将「鈴木康彦」氏が「南西諸島を取り巻く安全保障環境」について講話された。

講話の内容は、南西諸島を取り巻く近隣諸国の軍事情勢、尖閣諸島の国有化に伴う中国・ロシア機による領空侵犯が急増し、昨年1年間で過去2番目に多い999回のスクランブル発進の概要説明があった。南西諸島の防衛を重視する与那国島・石垣島・宮古島への部隊配置等の状況説明があり、益々近隣諸国の動向に注視する必要がある。

研修視察は、航空自衛隊の那覇基地において、戦闘機「F-15J/DJ」と早期警戒機「E-2C」の任務・特性諸元の概要説明等があった。

連絡協議会総会及び防衛講話には、九州・沖縄県の32の県・市・町の防衛議員連盟から約250名の議員が出席され、交流会においては、陸上自衛隊西部方面総監を初め、海上自衛隊佐世保地方総監・航空自衛隊西部方面隊司令官・地方協力本部の各本部長を初め、陸・海・空の自衛隊指揮官・幕僚等が参加されており、改めて「国を守る」事の重要性和陸・海・空の各自衛隊の任務遂行上の課題の把握と防衛議員連盟と第一線部隊との連携強化の重要性を改めて痛感した。

今回の視察研修において、九州・沖縄各県・各市町村の防衛議員連盟等が連携し、国の防衛に対する各県市民の意識の啓発と高揚を図り、又、自衛隊の諸活動への協力を通じ、その発展に寄与し、我が国の平和と発展に貢献することを目的とする、防衛議員の地位・役割を自覚・再認識したものと思料する。併せて、各県・各市町村の防衛議員との親睦を深めることができた。

5 視察の成果及び市政への反映事項等

(1) 視察の成果

ア 防衛講話により、中国の国際常識外れの軍事戦略、尖閣諸島における領空・領海侵犯の状況から近隣諸国の軍事戦略の実現化を日本国民は認識する必要がある。

イ 航空自衛隊那覇基地の視察については、早期警戒機の偵察能力と戦闘機による迎撃態勢等について説明を受け民間空港との課題を再認識した。
新たな滑走路等の計画もあり、南西諸島を重視した防衛大綱も確認できた。

ウ 交流会により、陸・海・空の自衛隊指揮官及び各県・市町村の防衛議員との親睦を深めるとともに、情報の共有化を図った。

(2) 市政への反映事項等

ア 都城市防災訓練等における第43普通科連隊等との密接な連携訓練の要領。

イ 各種の災害活動等において、災害派遣部隊（第43普通科連隊）・関係機関等との調整・航空機運用（ヘリコプター）等の再検討。

ウ 熊本地震等の教訓による災害対処に関する知識の涵養。

エ 都城市における自衛隊の存在及び役割と能力についての理解度の確認。

オ 我が国を取り巻く安全保障環境の理解。

6 添付資料

(1) 研修視察時程等・・・・・・別紙第1

(2) 総会・防衛講話・那覇基地視察の状況・・・・・・別紙第2

第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会 総会等日程

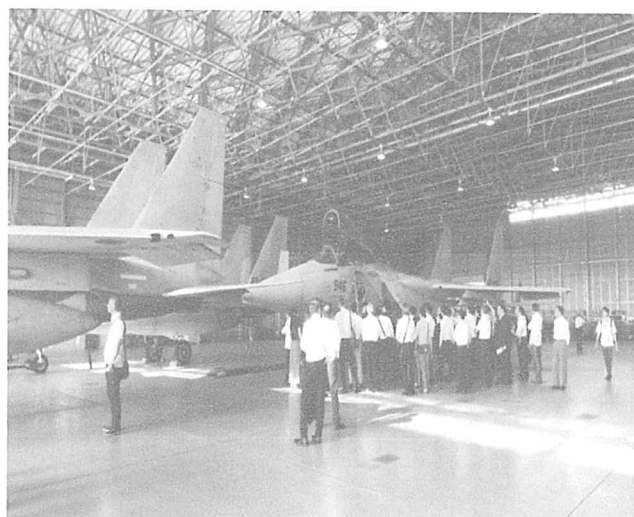
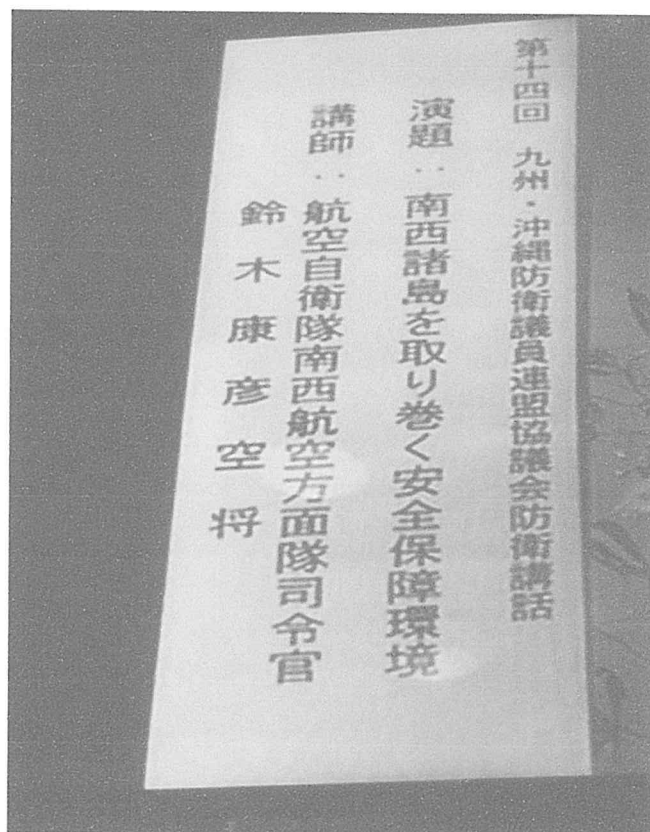
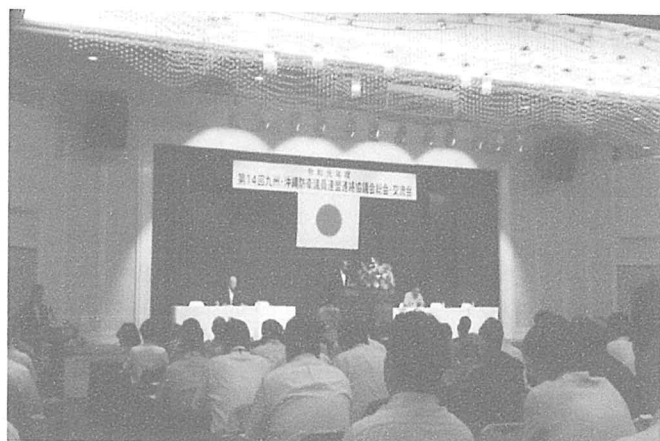
○期 日：令和元年8月26日(月) 14時00分～19時30分(各県議連については13:30から役員会)

○場 所：ロワジールホテル那覇及び航空自衛隊那覇基地

○九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会等及び視察

時 間	内 容	備 考
13:00～	受 付	3階ホール
13:30～ 13:45 (15分)	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会役員会 ※各県議連(8県)の役員のみで実施	3階守礼の間
14:00～ 14:50 (50分)	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会 ・ 役員就任について ・ 会長あいさつ ・ 来賓あいさつ ・ 来賓等紹介 ・ 議案審議 第1号議案 平成30年度事業報告(案)及び決算(案)について 第2号議案 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について ・ 大会決議 ・ 次期開催県について	3階天妃の間
15:00～ 16:00 (60分)	防衛講話 演 題 「(未定)」 講 師 航空自衛隊南西航空方面隊司令官 空将 上之谷 寛 氏 研修視察ブリーフィング	3階天妃の間
16:00～ 16:20	貸切バス移動 *参加者はすべて当バスで移動	エントランス前
16:20～ 17:20 (60分)	航空自衛隊那覇基地	
17:20～ 17:40	貸切バス移動	
18:00～ 19:30 (90分)	交流会	3階天妃の間

総会・防衛講話・那覇基地視察状況



第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会の感想

太陽の会 迫間輝昭

1 日 時

令和元年8月26日(月) 14:00～19:30

2 開催場所

沖縄県那覇市ロワジールホテル及び航空自衛隊那覇基地

3 視察の感想

第14回の九州沖縄防衛議員連盟の総会には、宮崎県防衛議員連盟からは、県会議員16名、都城市議会から2名の18名の参加であった。総会では事業報告等と次年度の計画や大会決議等が承認された。他県の議員から防衛議員連盟として、もっと活動する計画はないのかとの意見要望も出された。

防衛講話は、航空自衛隊の南西航空方面隊の司令官から「南西諸島を取り巻く安全保障環境」について講話された。中国の尖閣諸島への軍事的な行動やロシアと中国による共同訓練の目的について話された。又、スクランブルの回数急激に増えた要因について具体的に説明があり、南西諸島の状況が理解できた。南西諸島を守るために与那国島や宮古島・石垣島に自衛隊を配置する必要性を改めて感じた。那覇基地の研修は戦闘機や警戒機の性能等の説明があった。

那覇基地は民間空港と同時使用なので緊急時の課題もあり、新しい滑走路の建設も計画されている。今回の視察で尖閣諸島を巡って中国等が軍事行動する可能性が高くなった事を感じた。

4 視察の成果及び市政への反映等

- ・防衛講話や那覇基地の研修により、尖閣諸島の軍事的な価値を知り島を守る事の必要性和今後の課題を認識した。
- ・都城市にある第43連隊と今後も連携して、災害派遣等で活動する場合における防衛議員連盟としての役割を再認識する必要がある。
- ・都城市民へ国を守る事の重要性和中国・北朝鮮・ロシアの軍事的な戦略を教え、「平和のありがたさ」を知る教育が必要である。